

## はじめに・・・

滋賀の未来を担っていく子ども・若者が、日々の生活の中で幸せや豊かさを実感しながら心身ともに健やかに成長することは、私たちみんなの願いです。

しかしながら、子どもたちを取り巻く環境は日々、厳しさを増しております。ひきこもりや不登校などの社会生活を円滑に営む上で困難を有し、生きにくさを感じている子どもたちの支援など、健やかな育ちを支えることが重要です。また、近年では、家族の世話をしなければならないことにより子どもらしい生活を送ることができない、ヤングケアラーの問題も重要視されています。

県では、令和2年3月に「淡海子ども・若者プラン」を策定し、子どもが生まれる前から自立するまでの施策を総合的に進めているところです。

そうした中、令和2年3月頃から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、改めて社会の脆弱性が浮き彫りになり、特に、弱い立場に置かれている子どもたちは、不安な気持ちを抱いたり、我慢を強いられたりするなど、様々な影響があると考えています。県では、昨年度、子どもたちの笑顔を増やすための新しい行動様式「すまいる・あくしょん」を策定しました。子どもたちの笑顔につながる取組を県内各地で進めているところです。

子ども・若者は、社会にとって、大きな可能性を持ったかけがえのない存在です。全ての子ども・若者が居場所と活躍の場をもち、自尊感情や自己肯定感を育みながら、自立した個人として健やかに成長し、明るい未来を切り拓いていくためには、家庭、地域、学校、企業、そして私たち県民一人ひとりがそれぞれの役割を果たし、連携しながら取り組んでいくことが必要です。

本書では、本県の子どもたちを取り巻く現状と「淡海子ども・若者プラン」の関連事業の実績・成果を紹介しています。本書が広く活用されることにより、県民の皆さまに、子ども・若者育成に対する理解と関心を深めていただくための一助になれば幸いです。

令和4年（2022年）3月

滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局